

## オーディオ実験室収載

### Brooklyn DAC+の活用(10)

#### —DSD 録音(5)—

##### 1. はじめに

前報(9)に引き続き、DA-3000 により DSD 録音を行います。Brooklyn DAC+の導入結果を記録するため、今回、AES 入力からの DSD 録音を実施します。

##### 2. Brooklyn DAC+を使用した録音と試聴方法

録音の経路は次のとおりです。

Philips LHH1001→DACU-500→CRV-555 (GPS-777) →Brooklyn DAC+  
→P&G フェーダー→TASCAM DA-3000

LHH1001 からは RCA 同軸デジタルケーブルで引き出し、CRV-555 からは AES ケーブルで引き出して、Brooklyn DAC+の AES 入力端子に入力します。

Brooklyn DAC+には ABS-7777DA-3000 経由で 44.1KHz のクロックを入力しています。

なお、CRV-555 には GPS-777 から 44.1KHz のクロックを入力します。

録音は DA-3000 の設定を 5.6MHzDSF に設定し、ABS-7777 から 44.1KHz のクロックを入力しています。

再生は、録音音源を fidata にコピーし、fidata から USB 経由で Brooklyn DAC+に送り込んで再生します。

使用したソースは、オーディオ資料室の DSD 録音使用盤に掲載しています。

##### 3. Brooklyn DAC+の試聴結果元の

元の LHH1001 からの CD のストリーミング再生は、LHH1001 のアナログライクな闊達な音ですが、それと比べて、DSD 録音したものは、LHH1001 の雰囲気を残しながら DSD らしい滑らかな音になります。

今回録音した元音源の CD は、前報(8)と同じものを使用しましたが、前報(8)の fidata 経由の CD ドライブからの CD の録音と比べて、アナログライクな LHH1001 の雰囲気が残っており、CD ドライブからの CD の録音の方は、より切れ味の良い音です。

##### 4. まとめ

Philips LHH1001 から CRV-555 経由で Brooklyn DAC+の AES 入力で DSD 録音したものは、GPS-777 のクロック入力や DACU-500 などの効果で、若干雰囲気は異なりますが、fidata 経由の CD の録音と比べてもそん色のないものでした。

以上